かほく市史編さんだより

第 13 号　令和 8 年（2026）11 月 1 日

keep for the future
KAHOKU



鉢伏「閣地神社」に禅宗の無縫塔（むほうとう）

（塔身の高さ 37.8cm、最大径 43.8cm、下端径 19.3cm）

「かほく市史資料編６　寺社」の調査の一環として、鉢伏の閣地神社で石塔調査を行ったところ、五輪塔と無縫塔などが確認されました。特に無縫塔は、鎌倉期に禅宗とともに大陸から伝えられた墓塔の形式で、主に禅宗の僧侶の墓塔として使われました。球体形の卵形塔身に縫い目がない（一つの石だけで構成されている）ことから無縫塔の名がつけられています。

石川県では羽咋市の永光寺（ようこうじ）開山墓や七尾市の定林寺開山墓、珠洲市の永禅寺（ようぜんじ）開山墓などが１４世紀代の無縫塔として知られ、閣地神社の無縫塔はこれに近いものです。加賀地方では同時期の無縫塔は確認されておらず、本塔はその初例とみられます。



▲ 閣地神社の石塔群

かほく市域の禅宗寺院としては、永光寺所蔵の「血脈宗派」に明峰素哲（めいほうそてつ）の弟子暁仁が金津道満寺を、同弟子古銘宗鑑が気屋神徳寺を開山したことが記載されています。今回確認された無縫塔がこれらの寺院と関係するものなのか、それとも、別の禅宗寺院が鉢伏に存在したのか、今後の調査の進展が期待されます。

『専門部会活動のようす』

≪近代部会≫

近代部会は『かほく市史資料編３　近代』の令和 10 年度刊行に向け、昨年度より調査活動を行っています。明治から戦前にかけての旧三町行政文書や個人所有文書、新聞記事等からかほく市域に関わる資料を収集しています。

教育文化分野では西田幾多郎を取り巻く文化人を取り上げる予定です。また、産業分野では高松瓦製造道具の図版を掲載すべく準備を進めています。



●高松瓦製造用具の調査
県立歴史博物館収蔵庫

≪考古部会≫

考古部会は今年度から調査活動をスタートしました。かほく市域の発掘リストを基に、出土遺物の現状や報告書、写真資料の確認作業を行っています。

出土遺物につきましては、東京国立博物館や金沢大学資料館等、かほく市以外の施設に所蔵されている物も多く、順次調査を進めていきます。



●金沢大学資料館での調査



●宝達志水町埋蔵文化財センターでの調査

≪民俗部会≫

秋季祭礼に関するアンケート調査結果から、現在、かほく市で獅子舞を行っている地区が 26 地区であることがわかりました。昔は行っていたが、若い世代の減少で今は行っていないといった地区がある一方、舞う箇所を減らして日程を縮小したり、暑い時期を避け開催日をずらしたりするなど、地区の事情や気候の変化に対応しながらなんとか継続しようとする地区もありました。

民俗部会では現在行われている行事をできるだけ画像に残していくことをめざしています。獅子舞も民俗部会員と事務局とで手分けをして、地区の画像を撮影しました。祭礼以外にも地域独自の行事などがあれば市史編さん室までご連絡ください。



●今年から女子三人棒が加わった
横山秋季祭礼



●７年ぶりに獅子舞、奴行列が復活した
内日角秋季祭礼

かほく市史を読もう！　「かほく市生涯学習講座」より

今年度も恒例のかほく市生涯学習講座が開講されました。その中で「かほく市史を読む」と題して、昨年度刊行された「資料編１古代・中世」に関する講座が２回行われました。歴史書と聞くと、ともすると難しいと思われがちですが、かほく市史編集専門委員で古代・中世部会の方々に、資料編に掲載された史料について分かりやすくお話ししていただきました。

〇９月１日（火）

◆講師：木越　祐馨 氏　（加能地域史研究会代表委員）

演題：「戦国時代の河北郡門徒」



講師の木越氏は古代・中世編で戦国時代を担当されました。

今回は掲載した史料から３点を選び、戦国時代の本願寺門徒の在り様について以下のような内容で講義をして頂きました。

史料の１点目は白尾龍賢寺所蔵の方便法身尊像です。市内で戦国時代の裏書があるのはこの１点のみという貴重な史料です。その裏書の筆跡と関係史料から文亀２年（1502）に本願寺実如から加賀国英田保白尾村の某に授与されたことが読み取れます。

史料の２点目は秋田市正覚寺所蔵の方便法身尊像裏書です。その裏書から永正 12 年(1515)本願寺実如から木越光徳寺門徒である加州河北郡英田保気屋の了願に授与されたことが読み取れます。

この２点の史料から 1500 年代初頭に英田保（津幡町北部から旧宇ノ気町南部付近に広がる荘園）の海岸部から内陸部にかけて、まだ寺号を持たない有力寺院の門徒により本願寺から授与された絵像本尊を安置し講が組織作られて行ったことがうかがわれます



▲方便法身尊像
（龍賢寺所蔵）

史料の３点目は高松真証寺所蔵の本願寺証如書状です。その書状と『天文日記』（本願寺 10 代証如の日記）から、天文６年（1537）金津荘中が本願寺証如に勧進物（寄付金）を千疋（現代の金額でおよそ 100 万円）納めたことが分かります。金津荘とはかほく市の北部と東南部を除くほぼ全域に広がる京都上賀茂神社の荘園のことで、金津荘中とは荘内自治組織の長の集まりです。金津荘では荘園領主である上賀茂神社との繋がりを強く保ちながらも本願寺門徒としても活動していたことがうかがわれます。

このように河北郡の戦国時代の本願寺門徒の在り様は地域によって大きく異なっていたと言えます。

〇９月８日（火）

◆講師：東四柳　史明 氏　（かほく市史編集専門委員会委員長）

演題：「金津荘の百姓と日吉白山神人」

～金津荘白山神人の殺害事件の周辺を探る～



講師の東四柳氏は古代・中世編で鎌倉時代を担当されました。

今回は鎌倉時代の金津荘で起きた殺人事件の背景について、関係文書を解説しながら以下のような内容で講義をして頂きました。

鎌倉前期の建保３年（1215）、金津荘の百姓が上賀茂神社に赴き、賀茂太田社禰宜（ねぎ）の賀茂清平が、荘内に住む白山神人（はくさんじんにん）を殺害した横暴を訴える事件が起きました。この時白山本宮の本寺にあたる比叡山延暦寺からも朝廷に対して清平の解任を求める訴えがあり、朝廷は清平の職の罷免を通知しました。

また、貞永２年（1233）には、日吉白山神人が金津荘内で狼藉を働いたことを、上賀茂社家が、延暦寺に訴えたため、同寺はその訴えを認め狼藉を働いた神人に処罰を命じました。

神人とは神社に属して食料の寄進や雑役、神事の補助を行う一方で特権（神威）を背景に様々な産業に従事した人々のことです。この２つの事件などから、金津荘住人等が白山本宮やその本寺である延暦寺の神人という身分を得て、上賀茂神社の荘園支配に抵抗していた状況が読み取れます。また、金津荘の位置や自然環境から、日吉白山神人は河北潟の漁業や水運業に関係した人々であったのではないかと推測されます。

かほく市出前講座　　－　「かほく市史」を手がかりに　－

中町老人会「やすらぎクラブ」（９月１８日）

高松中町町会の老人会「やすらぎクラブ」から出前講座の依頼があり、ミニ歴史講座を行いました。

額神社からたかまつまちかど交流館にかけての中町通りは、江戸時代には宿場町として栄えました。現在でもその面影が街並みに残されています。

今回の講座では、図説「かほく市の歴史と文化」から中町と関わりのある３つの内容を紹介しました。



▲やすらぎクラブでの出前講座の様子

１つ目は町村合併についてです。明治 22 年（1889）の町村制施行から平成 16 年（2004）のかほく市誕生に至るまで、その変遷について旧高松町役場の写真を交えて説明しました。

２つ目は高松小学校の歴史についてです。編さんだより 11 号でも掲載した「高松・長柄小学校外見図」を示しながら、明治９年（1876）に額神社隣に校舎が建てられたことを紹介しました。

３つ目は実測による日本地図を初めて作った伊能忠敬についてです。享和（きょうわ）３年（1803）に加賀の測量を進めた伊能忠敬の一行が、高松の嶋屋市郎右衛門方に宿泊しました。嶋屋の所在地は不明ですが、額神社の灯籠にその名が刻まれていることを紹介しました。



▲嶋屋の名が刻まれた額神社の石灯籠

編さん室の歩み（活動記録）令和８年６月 ～ ９月

寺　社	仏像調査 2 回 6/28~29 文献調査 3 回 6/3, 7/15, 7/30 造形物調査 10 回 6/13, 6/24~25, 7/8, 7/20~21, 8/18, 9/1, 9/20, 9/30
民　俗	古民家調査 4 回 6/10, 6/24, 7/22, 9/29 聞き取り・現地調査 19 回 6/8, 6/10, 6/20, 6/25, 7/1~2, 7/18~20 7/22, 8/17, 8/20~24, 9/19~21
近　代	現地調査 4 回 6/24, 7/29, 8/12~13 文献調査 4 回 7/23, 8/17, 9/17~18
考　古	収蔵庫整理調査 5 回 6/20, 7/6~8, 7/17

6 月 15 日	編さんだより 12 号発行
6 月 20 日	第 1 回考古部会
7 月 8 日	第 2 回寺社部会
8 月 17 日	第 1 回民俗部会
8 月 22 日	第 2 回考古部会
8 月 23 日	第 2 回近代部会
8 月 26 日	第 1 回編集専門委員会
9 月 1 日	生涯学習講座①
9 月 8 日	生涯学習講座②
9 月 17 日	第 3 回寺社部会
9 月 18 日	かほく市出前講座

お問合せ・資料の提供はこちらまで　**かほく市史編さん室**

〒929-1215
かほく市高松ク４２番地１
かほく市高松産業文化センター３階

ＴＥＬ：（076）281-3455
ＦＡＸ：（076）281-3521
E-mail：shishi@city.kahoku.lg.jp →